

様々な学習形態

(1) 一斉

通常学級で行われている一斉学習である。学級全員の子どもたちに対し先生一人で、行われる一斉指導のこと。

一斉指導の中で以下のような学習形態がよく取り入れられる

- ① ペア学習→隣同士または前後でペアを組んで意見を言い合いながら、考えを広めたり深めたりする
- ② グループ学習→3人から5, 6人程度でグループをつくり、意見の交換や比較をしたりする。興味関心や習熟度別、課題別等でグループをつくると話しやすい雰囲気生まれ、意見交流が活発になる

(2) T・T (ティームティーチング)

学級全員の子どもたちに対し、先生が2人で指導する形態である。このT・Tのやり方には様々な方法がある。

同じ教室で2分割して指導する方法、単純に分割して人数を半分にして指導する方法(教室が2つ必要)、同じ教室内で主に授業を進めるT1、そして遅れがちな子につくT2のような形態、1学級を習熟度で2分割して指導する形態などがある。

(3) 分割 (少人数指導)

- ① 単純分割→1学級を単純分割して担任と少人数担当の先生が同じことを別々の教室で教えていく方法。
- ② 習熟度別分割→1学級もしくは複数学級を習熟度に応じたコースに分け、担任もしくは少人数担当の先生も含めて授業を行う形態。
- ③ 課題別分割→1学級もしくは複数学級を興味関心のある課題などでコースに分け、担任もしくは少人数担当の先生も含めて授業を行う形態。

(4) 個別学習

一人ひとりの能力や適性、興味・関心等に応じて行うことができる。

<一般的な問題解決型の学習過程例>

